



◆第一学院高盛岡校、学びの成果発表会 通信制高校の第一学院高盛岡キャンパス（桑江良章校長、生徒137人）は21日、盛岡市盛岡駅西通の市民文化ホールで学びの成果を披露する発表会を開いた。写真。

赤い羽根共同募金や不登校

など9テーマをグループに分かれて調べた1〜3年生の46人が発表した。

本県では未設置の夜間中学を調べたチームは、戦争で学校に通えなかった高齢者らのためにニーズ調査をするなど早期対応が必要と訴えた。田原ひよりさん（2年）は「これまで知らなかった夜間中学について深く学び、考えることができた」と振り返った。

遠藤頼世（らいせい）さん（3年）は継続して調べている子ども食堂を実際に訪問。「利用者が悩みを共有できる地域の拠点だということが分かった」と話した。

チーム活動は集団での話し合いを通してコミュニケーション能力を伸ばし、社会で活躍できる力を身に付けるのが狙い。発表会は毎年2、9月に開催し、今回で6回目。